

最新のMRIを使用した新たな検診メニュー 無痛MRI乳がん検診

検査料金 22,000円（税込）

令和8年1月17日からスタート（第1・3・4土曜日午前中）

痛くない、見られない。乳がんの早期発見をサポート



乳がん検診、ちょっと不安…
そんな気持ちはありませんか？

- ・痛みが怖くて、検診を避けてきた
- ・乳房を見られるのが嫌
- ・しこりがない段階でもわかるの？
- ・乳房手術後でも受けられるのか分からない

ドゥイブス・サーチ(MRI検査)ならその不安を解決できます

無痛MRI乳がん検診の特徴



痛くない



見られない



被ばくがゼロ
だから安心



がん発見率が高い



豊胸術や乳房
の手術後も
検査可能



日本人の乳房に
適している
（高濃度乳房）

DWIBS(ドゥイブス)とは？

DWIBS(ドゥイブス)とは、MRI装置を使ってがんやがん転移を調べるMRIの撮像方法で、がん細胞など細胞密度が高く水分子の動きが悪くなっている部分を検出し画像化します。



申込方法・検査の流れ

1. 予約(申込)

当院ホームページの専用WEBサイト予約又はお電話での申し込みとなります。(完全予約制で診察はございません。)

WEB予約はこちらをクリックしてください。(24時間可) →

予約専用
WEBサイト



お電話は TEL0774-72-7210までお願いいたします。

2. ご案内の送付

ご予約完了後、予約日の2週間前までに、予約日時・持ち物などのご案内を郵送いたします。

3. 検査当日

土曜日のため、時間外受付にご来院し受付をお願いいたします。

受付後、放射線科受付⑩番をご案内いたします。

4. 放射線科受付・検査

問診・同意書等の確認後、更衣していただきMRI室にて検査を行います。

5. 会計にて終了

検査終了後、時間外受付にてご精算をお願いいたします。(検査料金 22,000円(税込))

6. 結果発送

受診から2~3週間後に結果を発送いたします。

結果については、検査のみの検診のため、診察・結果説明はございません。

ご本人で結果のご確認をお願いいたします。

検査上の注意事項

次の項目に該当する方は、MRI撮影ができない場合があります。

- ・心臓ペースメーカー、除細動装置など金属を埋め込んでいる方(条件付きペースメーカー含む)
- ・頭部に何らかの金属が入っている方(脳動脈瘤クリップ、コイル、義眼、人口内耳、VPシャント等)
- ・その他、体内に材質が確認できない金属を埋め込まれている方
- ・妊娠中、もしくは妊娠の可能性のある方
- ・アートメイク(アイライン・眉毛)をされた方
- ・エクステやネイルを装着されている方
- ・生理前は乳腺の水分量が増えるため、がんの検出率が下がります。28日周期の場合は生理の1週間前および生理1~2日目を避けた日での検査を推奨します。
- ・乳房インプラントのうち、金属(マイクロチップ)がついているものは検査ができません。

DWIBS(ドゥイブス)検査は、被ばくもない、痛くもない。 PET検査のようにがんを探す検査

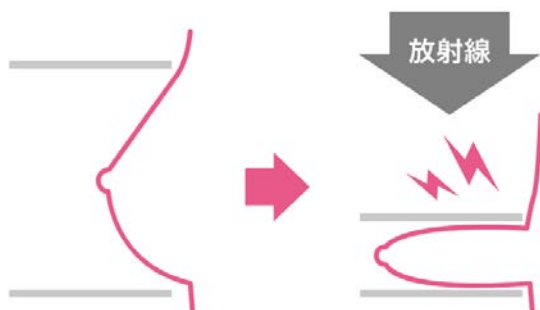
MRI(Magnetic Resonance Imaging)検査は、がんの有無や広がりなど、電磁波により撮影を行う精密検査です。その他にもがんのスクリーニング検査として知られているPET-CTがありますが、最近では身体への負担がより少なくがんを調べる「DWIBS(ドゥイブス)」が注目されています。

DWIBS(ドゥイブス)検査は、PET-CT検査と比べて検査時間が短く食事制限や放射性薬剤や検査による被ばくがなく費用面においても優しい検査となっています。

痛くない理由

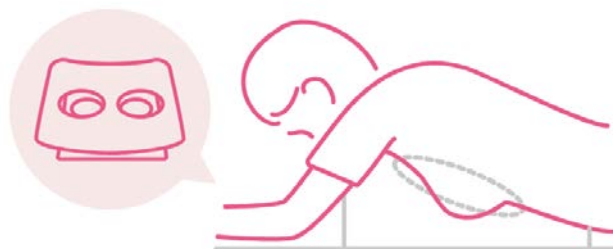
無痛MRI乳がん検診(ドゥイブス・サーチ)は、うつ伏せになり、乳房を丸い穴のなかに垂らして撮影する検査です。乳房を圧迫しないので、はさむ痛みとは無縁で全く痛みはありません。

マンモグラフィーの場合



圧迫版でやや強めに乳房をおさえ、平らにのぼします。

ドゥイブス・サーチの場合



乳房型にくりぬかれたベッドにうつ伏せで行います。

見られない理由

マンモグラフィは撮影時素肌になる必要がありますが、無痛MRI乳がん検診(ドゥイブス・サーチ)は、検査着を着たまま検査を受けられます。磁気の力を利用して体の臓器や血管を撮影する検査ですので、検査着を着ていても画像上に変化はありません。

被ばくゼロの理由

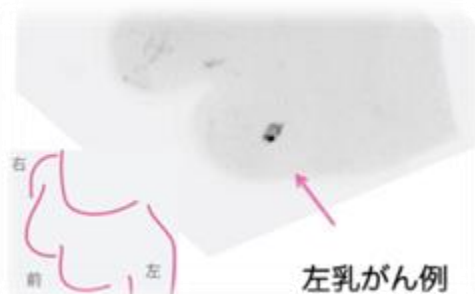
MRIの内部は磁石とコイルでできていて、エックス線(レントゲン)を使用しないため、被ばくが「完全にゼロ」であるという特徴があります。

無痛MRI乳がん検診は、画像のような装置で、トンネル内に体を入れて写真を撮ります。一見CT装置と似ているように見えますが、MRIは磁場とラジオ波を利用して身体内部の画像を生成します。放射線を一切使用せずに高精度な診断が可能です。



がん発見率の高い理由

無痛MRI乳がん検診のがん発見率は、直接比較はできませんが平均的なマンモグラフィの5倍以上に相当します。



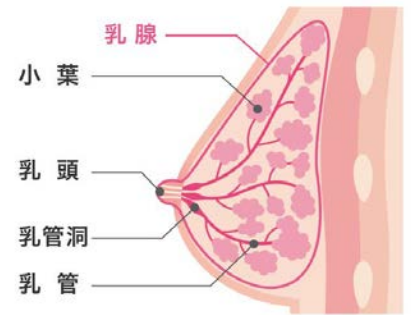
乳がんってどんな病気？

乳がんは乳腺に発生する悪性腫瘍

乳がんは、乳房にある乳腺（母乳をつくるところ）に発生する悪性腫瘍です。乳管という、乳汁の流れ道の管や、小葉という奥の方の組織のいずれかから発生します。

乳管の中にがんがとどまっている場合は非浸潤がん（DCIS）といい、乳管を破って周りの乳腺に及ぶと浸潤がんと言います。

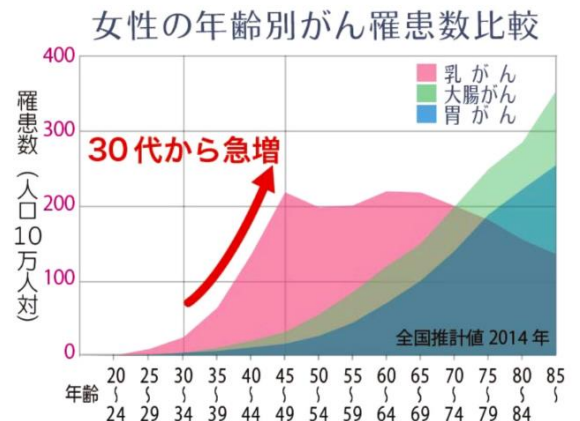
症状は「しこり」「分泌物」のほか、「腫れ・痛み」のことが多いですが、これらは乳がん以外でもよく起こる症状なので、定期的な検診で見分けることが重要です。



乳がんは30代から急増、働き盛りの女性がかかり、女性のがん死のトップ

ほかのがんに比べて若い世代でも発症しやすいことも特徴で、30代前半から増え始めます。

乳がんは急速に増えており、日本女性の9人に1人※が生涯の間に乳がんにかかるといわれています。30～64歳の女性のがん死亡原因のトップとなっています。



がん部位別に見た死亡原因（女性 上位5位）

年齢区分	1位	2位	3位	4位	5位
25-29	白血病	子宮	脳・中枢神経系	胃	乳房
30-34	乳房	子宮	胃	大腸	卵巣
35-39	乳房	子宮	胃	大腸	卵巣
40-44	乳房	子宮	大腸	胃	卵巣
45-49	乳房	子宮	大腸	卵巣	胃
50-54	乳房	大腸	子宮	卵巣	胃
55-59	乳房	大腸	肺	子宮	胃
60-64	乳房	大腸	肺	胃	膵臓
65-69	肺	大腸	乳房	膵臓	胃
70-74	肺	大腸	膵臓	胃	乳房
75-79	肺	大腸	膵臓	胃	肝臓
80-84	肺	大腸	膵臓	胃	肝臓
85-	大腸	肺	胃	膵臓	胆嚢・胆管

50歳ぐらいまでの方の多くは、乳腺が豊富に存在し、これがマンモグラフィでのエックス線を通しにくい為、乳房の中央部が白く(濃度が高く)写ります。これを高濃度乳房といいます。

マンモグラフィの場合、がんは白く写りますので「雪山の白ウサギ」を見つけるような感じになり、当然がんがみつかりにくくなります。

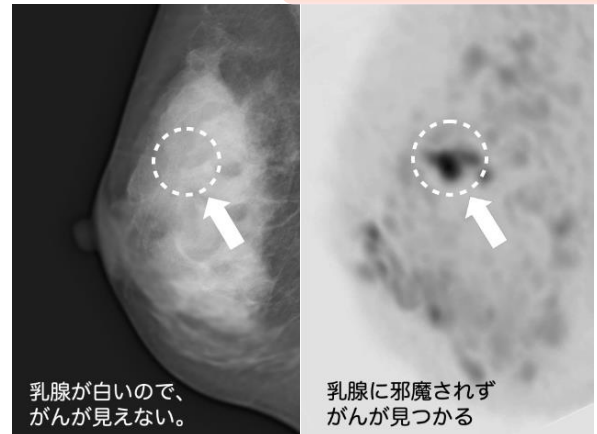
無痛MRI乳がん検診(ドゥイブス・サーチ)では、がんが黒く映ります。

無痛MRI乳がん検診では、マンモグラフィでは見分けのつきにくいがんが次々に発見されています。

マンモグラフィ

無痛MRI乳がん検診

無痛MRI乳がん検診(ドゥイブス・サーチ)では、がんが黒く映ります。
無痛MRI乳がん検診では、マンモグラフィでは見分けのつきにくいがんが次々に発見されています。



豊胸術や乳房の手術後も検査可能な理由

無痛MRI乳がん検診は、乳房を圧迫しないので、豊胸術や乳房手術後、インプラント挿入後の乳がん検査ができます。

乳房手術には主に以下の2種類があります。

1. 乳がん手術後の再建術

乳がん手術後、失われた乳房の形状を回復するためにインプラントを挿入することがあります。

2. 美容目的の豊胸術

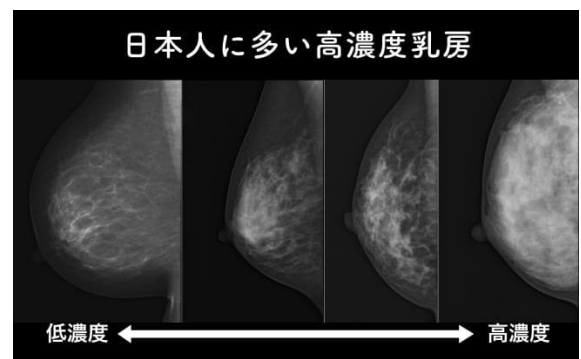
審美的な理由で乳房を大きくするためにインプラントを挿入します。

これらの手術後であっても、乳がん検診は定期的に受診することが推奨されますが、インプラントの存在により、検査方法に制約が生じてしまいます。

無痛MRI乳がん検診は、乳房を圧迫しないので、豊胸術や乳房手術後、インプラント挿入後の乳がん検査ができます。

日本人に適している理由

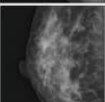
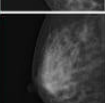
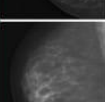
無痛MRI乳がん検診では、乳腺の濃度の影響をほとんど受けないので、デンスブレスト(高濃度乳房)の方でも問題なく検査が可能です。

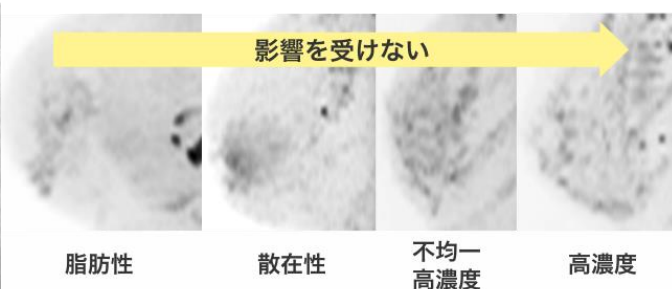
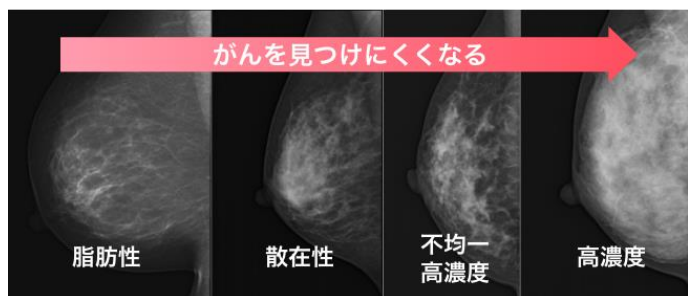
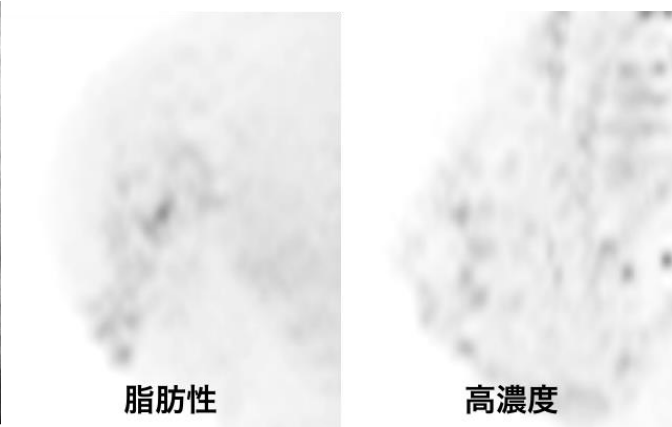
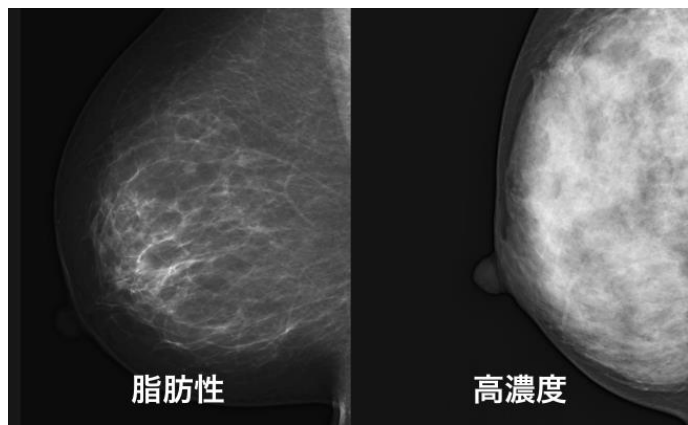


日本人では欧米比べて高濃度乳腺の割合が高く、50歳以下では80%近くが高濃度乳房(高濃度・不均一高濃度)であるとする報告があります。

透き通っている乳房(高年齢の方)と、白く曇っている乳房(高濃度乳房、デンスブレスト:多くの働く年齢の女性)ではがんの発見率が倍も違うことが分かっています。

無痛MRI乳がん検診(ドゥイブス・サーチ)は、乳腺の量に左右されにくいので、がんの発見率が下がることはありません。日本人女性に多い高濃度乳房(デンスブレスト)の方でも、安心して検査を受けることができます。

乳腺濃度		年代	特性
高濃度		50代以下に多い ↑ ↓ 70代以上に多い	日本人女性に多い ↑ ↓ 欧米女性に多い
不均一高濃度			
散在性			
脂肪性			



マンモグラフィ検査でのがんの見え方の違い
がんも白いので見つかりにくい(乳腺が多いと白くなる)

MRI検査での見え方の違い
がんは黒いので見つかりやすい(乳腺の量に影響を受けない)

無痛MRI乳がん検診の詳細
については、こちらから
委託先：(株)ドゥイブス・サーチ

